

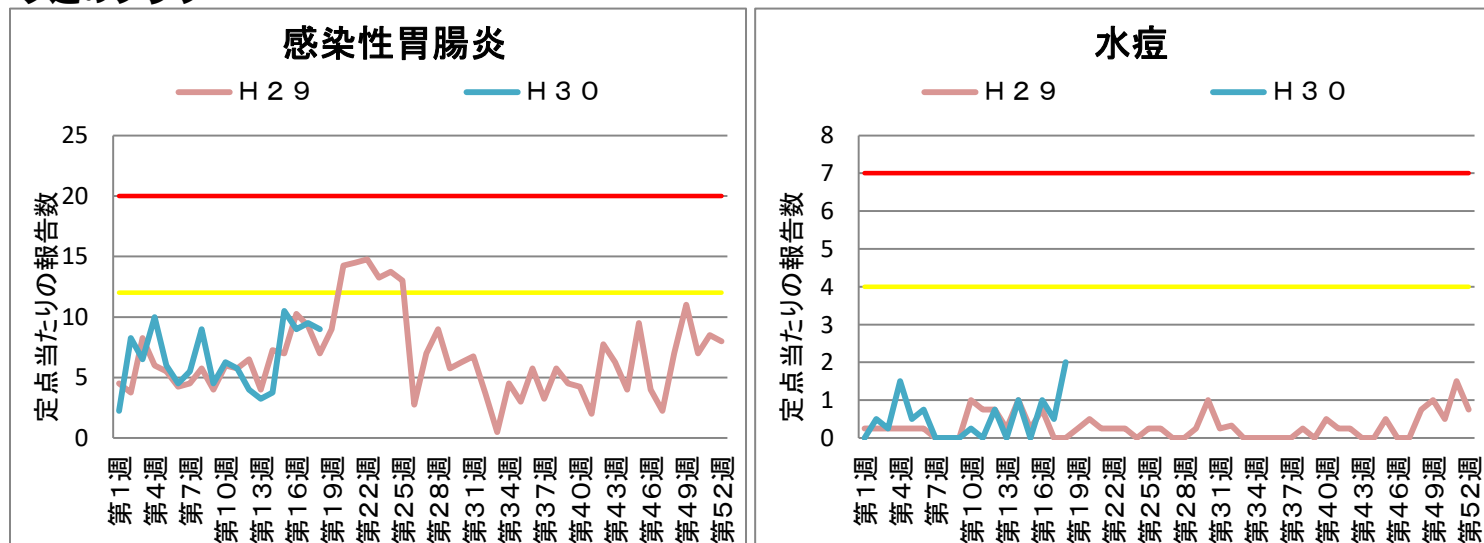
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 18 週 平成30年4月30日 ~ 平成30年5月6日

今週のコメント

○ 感染症発生動向調査はゴールデンウィーク中にいただいた報告なので参考値ですが、乙訓地域で、水痘(みずぼうそう)の報告が増加しています。乙訓地域の学校等欠席者・感染症情報システムでも、水痘の報告がみられています。水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘・带状疱疹ウイルスの初感染によって発疹が生じる急性感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染を感染経路とし、感染してから症状がでるまでの潜伏期間は約14~16日です。感染力が強く空気感染するので、保育園・学校などで流行しやすい感染症です。
○ 水痘の予防には水痘ワクチンが有効です。ワクチンの接種歴を確認し受けていない場合はワクチン接種を検討しましょう(水痘ワクチンの接種により重症化をほぼ100%予防できます)。定期接種は生後12月から生後36月です。1歳になったら早めに1回目を接種し、標準的には6~12月後に2回目を接種しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.29	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	0.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	9	流行性耳下腺炎	-
水痘	2		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

参考資料等

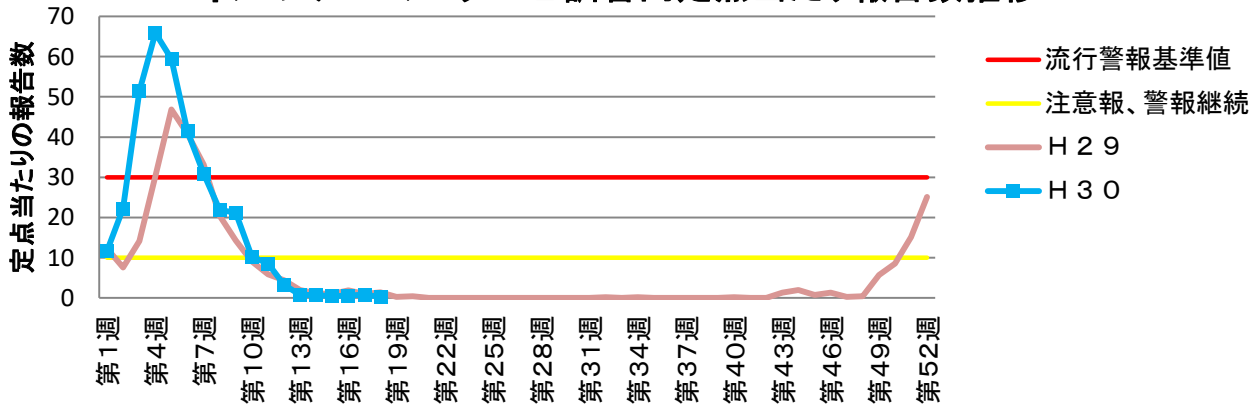
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

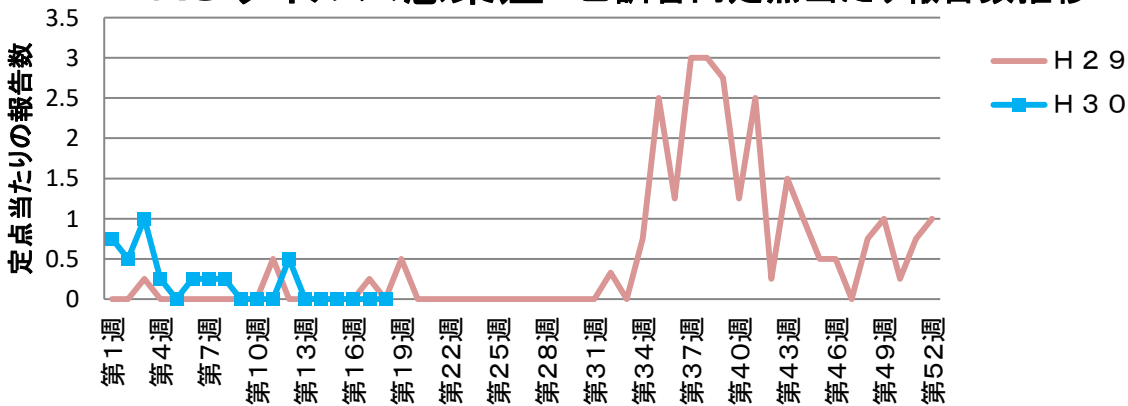
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

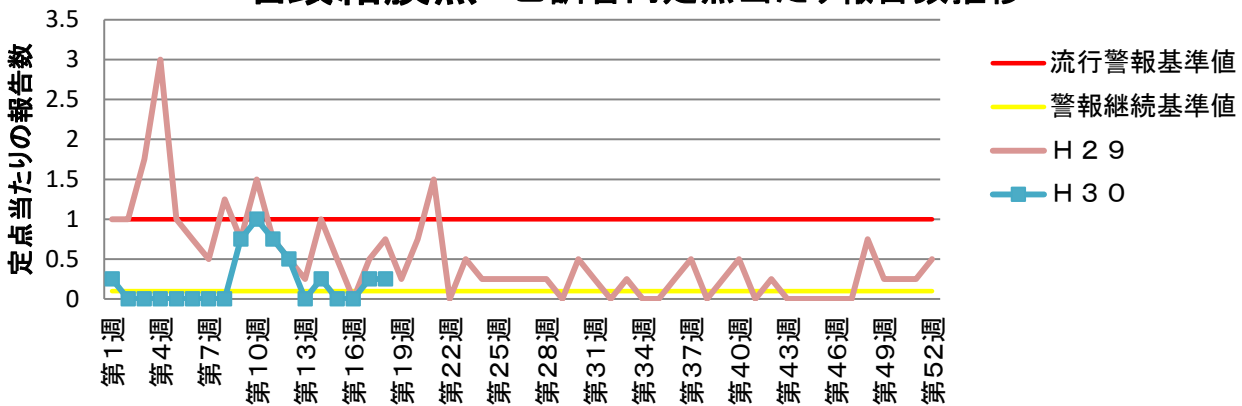
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



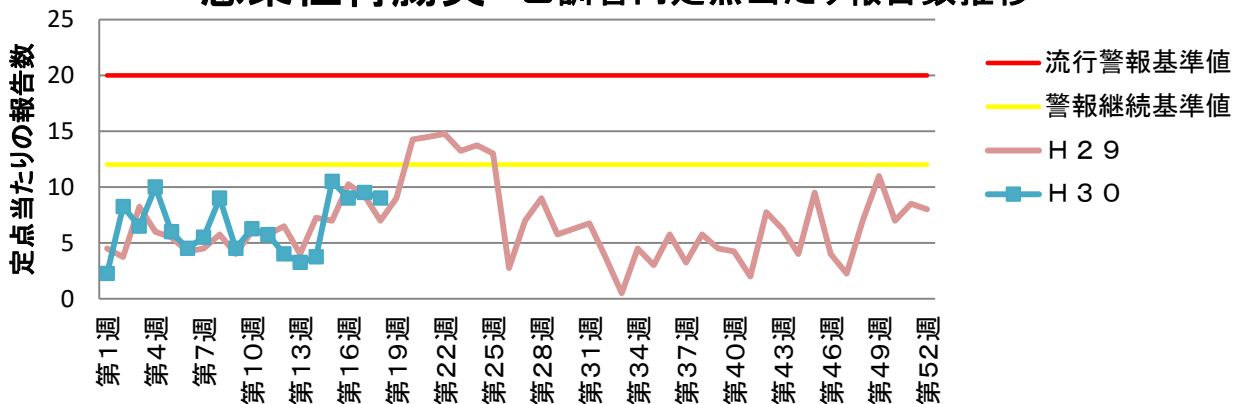
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



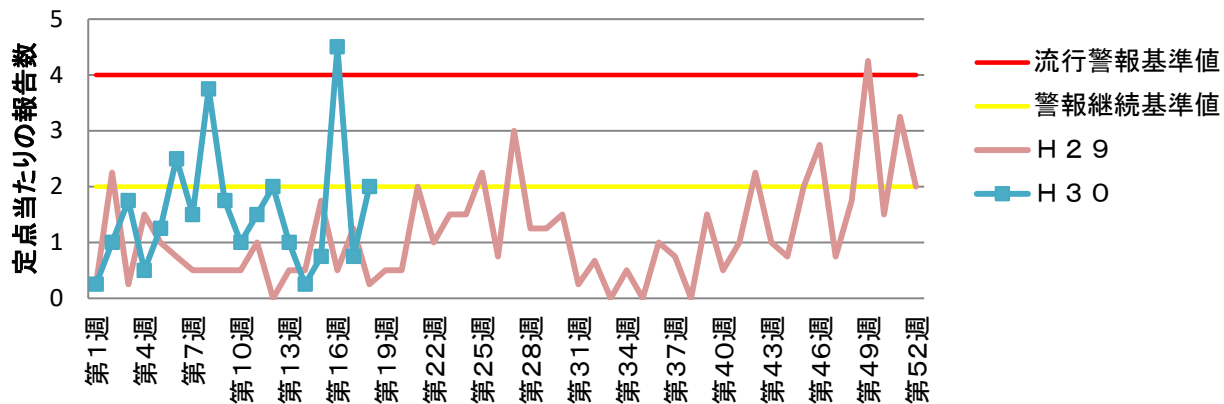
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



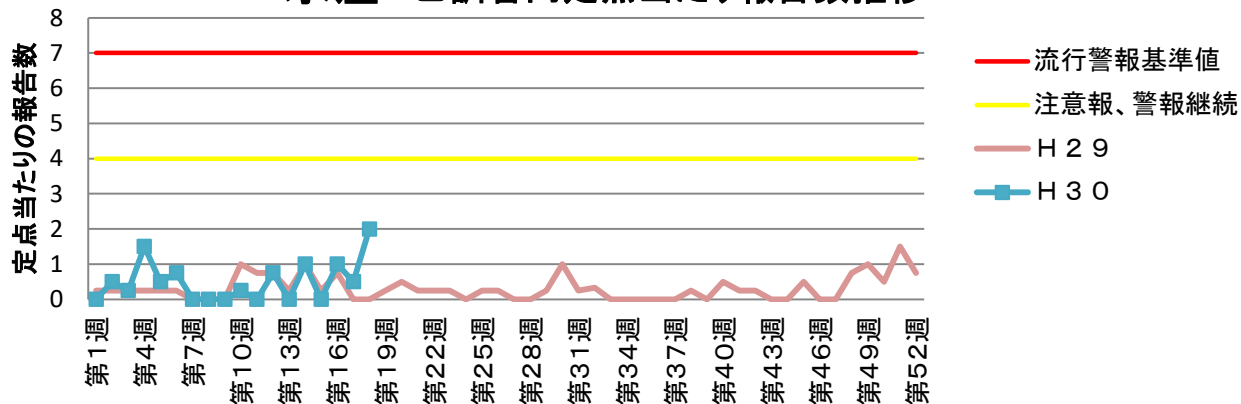
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



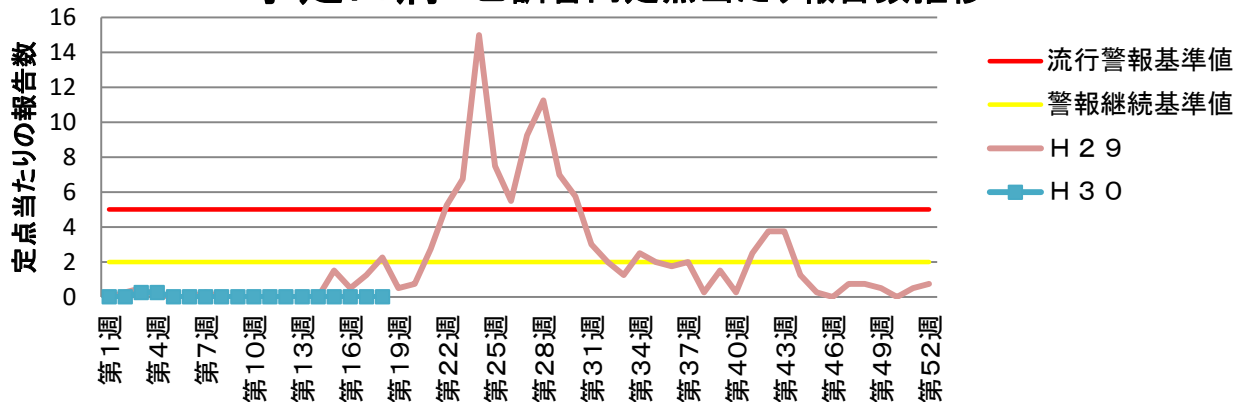
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



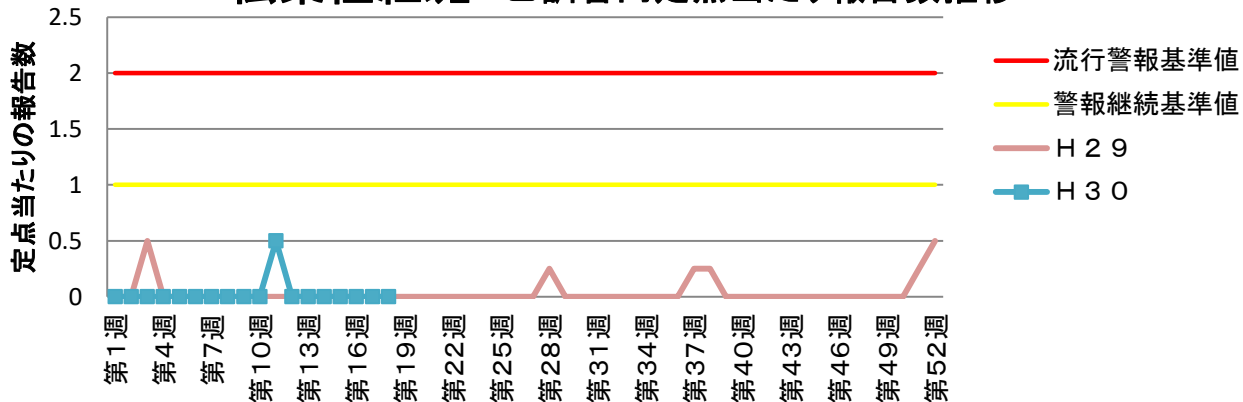
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



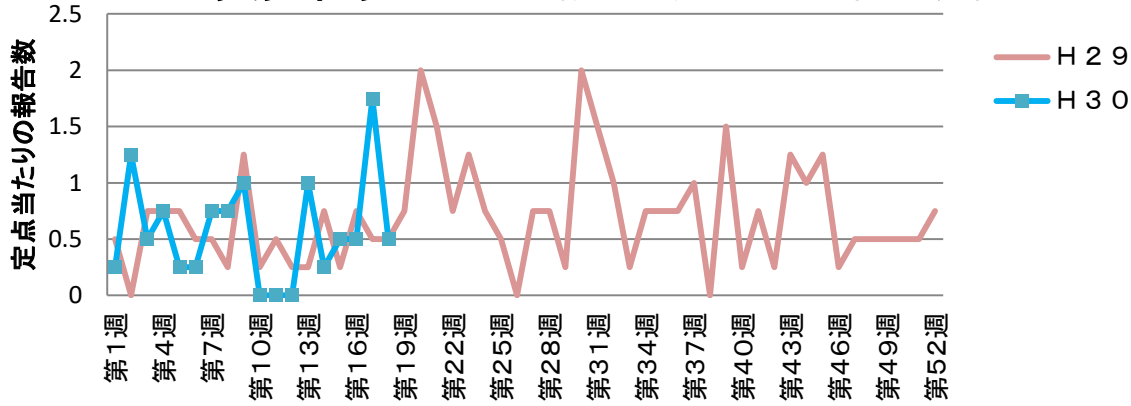
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



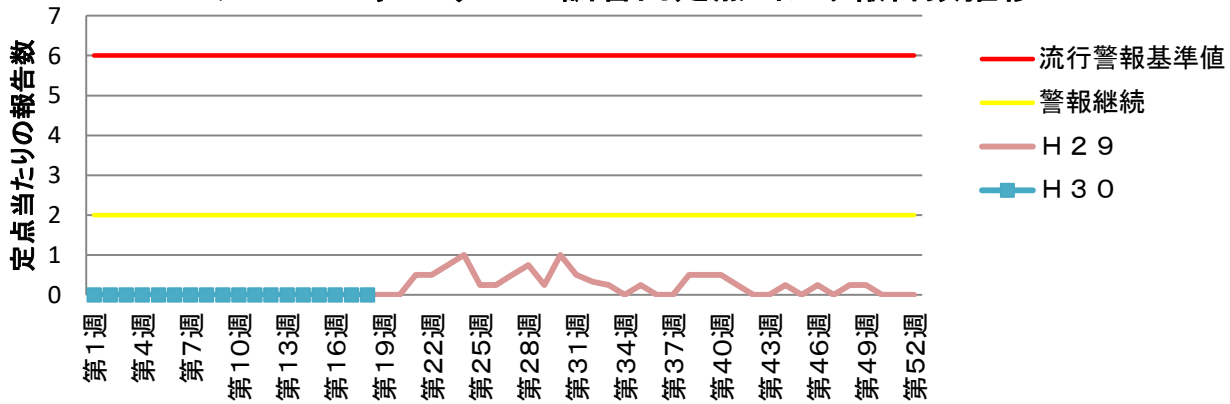
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

